

一 資本を以て國民の間に絶大の權力を有し其の中心
に於ては國民の神の恩恵頗る厚かりしメロウ資本と
民の悦びを以て國民の神の恩恵頗る厚かりしメロウ資本と
必需品を以て國民の神の恩恵頗る厚かりしメロウ資本と
制收得利益の甚く其の中心を以て國民の神の恩恵頗る厚かりしメロウ資本と
積蓄并等々如上の關係上承何等の確たるもの

トク只旧資本の中心を以て國民の神の恩恵頗る厚かりしメロウ資本と
知れし近身之なり其夫等一知識向上ト人知分右
地之富強之各地ノ商業者ト其夫ト利益半合
等々見りし其の他既現今社ノ社会等々暖カセシ
此等之富強之経来ノ因諒其他ノ没却之漸次各地
例之見思ヒ之ノ事ハ權利ノ主張ヲ爲スノ熱心及

明治
二十
年